

ハンドマイク街頭演説原稿例

参院選結果・9条改憲ストップ

二〇二二年七月十四日 日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

参議院選挙では、さまざまなご協力やご支援をいただき、ありがとうございました。埼玉選挙区で日本共産党の梅村さえこは二十三万六千八百九十九票いただきましたが、議席には届きませんでした。比例代表で日本共産党は埼玉で二十四万六千票、全国で三百六十二万票をいただきました。結果、日本共産党は比例代表で三議席、東京選挙区の山添拓参議院議員の再選と合わせて四議席となり、改選前から二議席後退という、たいへん残念な結果となりました。選挙期間中のご協力ご支援に、重ねて感謝を申し上げます。

日本共産党はこの参議院選挙で、憲法九条を生かして東アジアに平和をつくる「外交ビジョン」、消費税の5%への減税、大企業でも中小企業でも賃上げの実現、年金削減中止、学費半額、給食費ゼロ、気候危機打開、ジェンダー平等などの政策を訴えました。私たちの訴えに、多くのみなさんから共感や支持の声をいただきました。日本共産党は公約実現のため、これからも引き続き全力で取り組んでいく決意です。今後とも日本共産党へのご支援を、よろしくお願いいたします。

さてみなさん、参議院選挙の結果、自民党、公明党の与党と、野党の中でも憲法改定に積極的な日本維新の会、国民民主党とを合わせて、参議院の三分の二の議席を獲得しました。憲法改定の発議に必要な議席を確保したことで、岸田首相は早くに改憲案の発議をめざす強い意欲を示しています。

しかしながら、多くの国民が憲法改定を望んでいないことは、マスコミの調査でも明らかです。憲法改定についての質問では、「急ぐべき」38%に対し、「急ぐ必要はない」が58%と大幅に上回っています。参議院選挙で重視した問題についての質問では、43%の人が「物価高対策・経済政策」と答えたのに対し、「憲法改正」はわずか6%でした。

しかも、自民党など四党は、選挙公報でも選挙中の街頭演説でも、「暮らしを守る」といった言葉を前面に押し出す一方、憲法改定については、まったく言わないか、控えめにしか言わない方がほとんどでした。選挙中は憲法改定のことを避けていたのに、選挙が終わったら憲法改定を進める。これでは、国民をだますようなものではないでしょうか。

そしてみなさん、自民党などがめざす9条改憲は、自衛隊が海外で武力行使、戦争をできるようにするものです。日本共産党は、日本を戦争できる国にする9条改憲を止めるため、全力をあげる決意です。みなさん、自衛隊を戦場に送り出し、日本を戦争に巻き込むような憲法改定に反対の声を、ご一緒にあげましょう。

スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますよう最後にお願いたしました。この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。(了)